

## 4 「日常生活に対して問題意識を持てる」ことをめざした授業展開例 2

教科(科目)	公 民 ( 倫 理 )	単 元	現代と倫理 (3) 現代の諸課題と倫理
本時の主題	環境保護のために自分は何をするか。 (1時間目 / 3時間)		
本時の目標	(1) 今までに学んできた「環境」についての学習を総括し、現在の自分の環境に対する意識を明確にする。 【思考・判断】 (2) これから先、「地球規模で考え、足元から行動する」(think globally, act locally)ことができる意識・態度を養う。 【関心・意欲・態度】 (3) 生徒が自分たちで集めた統計資料を分析し、次の行動の方針を考察することを実習する。 【表現・技能】		
指導の内容・ねら	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
・導入として2002年に開催された環境開発サミットについて知る。  5分(経過時間) ・過去に自分が受けてきた環境教育を振り返り、何を身につけたか考える。  15分 ・環境に関する学習を受けて、自分の中や家庭で何が変化したかを考えさせる。  30分 ・これからの環境教育のあり方を考える。	2002年の環境開発サミットの内容を知る。 Q1: 今年、環境開発サミットはどこで開催されたか？ Q2: 宣言の中に環境に対する模範的な取組みとして盛り込まれた日本の都市はどこか？ Q3: 北九州市ではどんな取組みが行われているか？ ・A1 南アフリカ共和国のヨハネスブルク ・A2 福岡県北九州市 ・A3 都市施設および都市活動のエネルギー・水、資源の循環負荷が小さいゼロエミッション都市の建設を進めている。(エコタウン事業)  今までの環境学習が残したもの。 Q4: 今までに自分が受けてきた環境教育はどんなものがあるか？  Q5: 今までの学習は、「環境」に対して何を学んで欲しかったのか？読みとってみよう。 ・羅列的に板書されている環境教育の項目を見ながら、発問によって「環境の現実を知るもの」「環境保護について学ぶもの」「自然の大切さを学ぶもの」に大きく分ける事ができることを理解する。 Q6: 自分は環境に対してどんな意識をもっているか？ ・環境について知ったことは何か。 ・「環境に優しい」どんなことを実行しているか？ ・やると環境に良いとわかっていてもできていないことは何か？ ・なぜできないのか？ Q7: 環境に関する自分の意識をグラフに表してみよう。 ・プリントの以下のグラフのマス目の中に を記入する(縦軸は地球規模の環境問題に対する意識を、横軸は自分の環境保護に対する意識を示す) 環境保護  環境保護より快適な生活 快適な生活よりも環境に優しく 開発優先  Q8: クラス全体の環境に対する意識についてどんな傾向があると考えられるか。	Q1～Q3について答えさせながら環境問題への意識の喚起を図る。 【関】 <評価方法> 質問に対する発言とその内容  Q4については、プリントに自分の考えを記入させ、意見発表させる。 【思】 <評価方法> プリントの事後提出で確認  Q6については、プリントに自分の考えを記入させ、意見発表させる。 【思】 <評価方法> プリントの事後提出で確認  Q7については、プリントに自分の考えを記入させる。 【技】 <評価方法> プリントの事後提出で確認  クラス全体の意見を集約するために拡大したグラフを列毎に回し、今度は自分が選んだマス目のところに「正」の字を記入していく。全員が記入し終わったら、集めて黒板の大きなグラフに数字で記入していく。  Q8については、プリントに自分の意見を記入させ、意見発表させる。 【技】 <評価方法> プリントの事後提出で確認	

<p>40分</p> <p>・視野を広くして環境問題に対する行動指針を考えさせる。</p> <p>50分</p>	<p>クラスの結果から考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの環境教育は何をどんなふうにしたらより実効あるものになるだろうか。</li> </ul> <p>Q9：現在、環境問題は順調に解決してきていると考えられるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えられる 河川や空がきれいになった 公害病認定患者が減少した</li> <li>・考えられない 酸性雨の被害の拡大 国境を越えた公害の拡大 オゾンホール拡大など</li> </ul> <p>Q10：本時の内容をふまえて、今後は環境保護に関してどのような活動を行っていくといいのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活環境について 個人が自覚を持つ 省エネ、リサイクルの徹底 企業が意識を持つようにする</li> <li>・地球規模の環境保護について 国際的な取組の拡大 先進国の発展途上国への支援拡大</li> </ul> <p>Q11：個人・企業・国家の自覚や善意だけで環境はよくなるのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保護の行動が利益につながるような方策を考えることも重要である。 税の優遇措置、環境税の還元、無償援助など</li> </ul>	<p>Q9については、国や国際社会の取組を想起させ考えさせる。 【思】</p> <p>&lt;評価方法&gt; 質問に対する発言、その内容</p> <p>Q10については、プリントに自分の意見を記入させ、意見発表させる。 【技】</p> <p>&lt;評価方法&gt; プリントの事後提出で確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果は従来と同じ項目をあげるようになってしまいが、それを利用してQ11へ進む。</li> </ul> <p>&lt;評価方法&gt; 【関】 質問に対する発言、その内容</p>
--	--	--

<資料> 次ページに配布用のプリントを添付した。実際の物はB4判で作成してある。従って生徒の書き込む欄はもっと広くとってある。

<指導上のポイント、考察>

- (1) Q4に対する反応は、最初ほとんど無かった。しかし、例(雨の酸度の測定、蛍の飼育、水生昆虫の生息調査など)を挙げた後は思い当たる事が増えた。
- (2) Q5の意図をとらえることは難しかったようである。教師が黒板に書き出された項目に色を付けたりしてヒントを与えなければならない。
- (3) 結局は環境保護のための目新しい方法は出てこなかった。しかし、なかばお題目のようになり知識のみを身につけている環境問題に、実践に向かう刺激を与えることができたと思う。授業の開始時には「また環境問題か」「もう聞き飽きた」などといった雰囲気を感じられたが、生徒のにとっては意外な授業展開であったようである。もう少し将来の行動につながるような授業構成に改良する必要があると思う。

<単元の指導計画(全3時間)>

- 1時間目 環境問題を整理し、自分の考えを明確にする。(本時)
- 2時間目 身近な社会の環境に対する意識を調べる。
- 3時間目 この先環境保護のために自分はどんな行動をとるのか。

## <倫理> 今の環境問題を問い直し見よう！！

1) 今までに学校でやってきた環境学習をあげてみよう

2) 今の自分の環境に対する意識をまとめてみよう

ア) 環境について学習して知ったことは何か？

イ) 「環境に優しい」 似たなことを実行しているか？

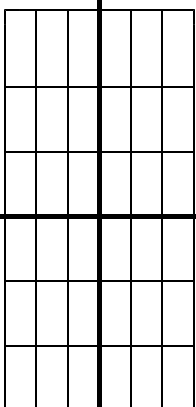
ウ) やるといいとわかっていても出来てないことはどんな事？

エ) ウは何故できないのだろうか？

環境に関する意識をグラフの上に表してみよう  
(自分の気持ちに最も近いマス目) をつけよう)

<自分>

環境保護より  
快適な生活

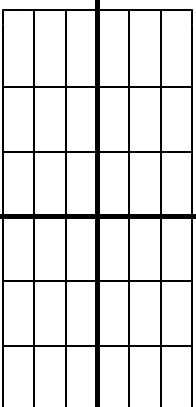


快適な生活より  
環境に優しく

開発優先

<クラス>

環境保護より  
快適な生活



快適な生活より  
環境に優しく

開発優先

【考察】

これからの環境保護政策とは？

「新しい『倫理』の授業展開例を作成するにあたって」

### 自分にとって「倫理」はどんな科目か。

倫理というと「昔の人の哲学論を、難しい資料を使って知る科目」という固いイメージが先行している。とかく敬遠されがちな科目ではあるが、授業展開の工夫という点ではかなり自由度が高い、魅力ある科目であることを実感した。

現代の日本は到達すべき目標、国家を挙げて進むべき未来のはっきりしない状況にあり、人生をどう生きるべきか、何を目標に生きるのかが見えにくくなっている。利己的、即物的な事件が多発するのもそのせいではないか。こう考えると「倫理」において「生き方・在り方」を考えることは重要なことであると思う。

### どんな授業を目指そうとしたのか。

ズバリ「えっ、これが倫理の授業なの？」と、生徒が驚きと興味を持てる授業を考えた。私に与えられた課題が「現代の諸課題と倫理」の分野での授業案作成であったので、現代社会の抱える課題から4つを取り上げ、倫理面からの考察を試みようとした。

最近の生徒は、調べてまとめることについては小中学校でかなり訓練されているように思う。しかし、事実をもとに自分なりに合理的な解釈を加えることはまだまだ未熟である。従って授業ではなるべく「あれこれと考える」材料を提供することを心がけた。

### 授業構成上は何を心がけたか。

内容的に他の教科・科目と関連する部分が多く、それだけに同じような内容の授業になることを避けるように心がけた。ただ、私自身が考えていた以上に他教科・科目の授業は専門的・具体的であり、倫理面（道徳面）にまで広く（深く）踏み込んでいるものは少なかった。このあたりに「倫理」の存在意義を強く感じた。

### 今後取り組んでみたいテーマ

今回手をつけることができなかつたのが「人類の福祉」である。国際協力に関する考察に取り組んでみたい。また、3つの分野とは異なるが、「法と社会のかかわり」についても考えてみたい。現在の日本では、法律への関心が非常に高まっている。人々の権利を守るはずの法がひとり歩きし、ともすると人々の生活を縛り、窮屈な社会を作ってしまう。アメリカ合衆国やドイツをの社会を材料に法について倫理面からアプローチしてみたいと考えている。